

アジア防災科学技術情報基盤(DRH-Asia)の形成 (Disaster Reduction Hyperbase-Asian Application)



アジア各国の防災政策課題を支援するうえで不可欠の、地域特性に根ざす有効な防災のノウハウを集積するため、我が国を中心とし、アジア各国ならびに防災関連国際機関と協力して、優れた「現場への適用戦略」を持つ防災科学技術を抽出・体系化して、アジア地域における防災科学技術情報基盤をウェブ上に構築、その普及を図る。本研究課題は、国連防災世界会議(2005年1月)の成果である兵庫行動枠組を具体化するものであり、同会議に日本政府から提唱した防災ポートフォリオの一環としての「防災科学技術リスト」を国際的な情報ツールに育てるものである。

< 実施内容 >

研究代表者名 亀田弘行(独)防災科学技術研究所 客員研究員
代表機関名 (独)防災科学技術研究所

アジア防災科学技術情報基盤のシステム開発研究

(防災科学技術研究所・京都大学)

国際連携に関する中核的活動/コーディネーション・研究評価会議、システム開発会議等

(防災科学技術研究所・京都大学)

(国内機関)

アジア地域の防災科学技術に関する調査・分析

(防災科学技術研究所・京都大学)

DRH-Asiaのコンテンツ生成

(防災科学技術研究所・京都大学・他の国内機関)

(国外機関)

DRH-Asia形成のための情報生成活動

(北京師範大学(中国)、民生部国家減災中心(中国)、ネパール地震防災協会(ネパール)、バンドン工科大学(インドネシア)、フィリピン火山地震研究所(フィリピン)、SEEDS(インド)、国家防災センター(バングラデシュ)、国際地震防災研究所(イラン)、ホガッチ大学(トルコ)・他)

DRH形成のための国際連携活動

(防災科学技術研究所・京都大学・国連国際防災戦略事務局(ISDR)等)

DRH-Asiaのコンテンツ生成におけるアジア各国へのコーディネーション活動

(防災科学技術研究所・アジア防災センター・国連教育科学文化機関(UNESCO))

政策課題の検討および国際普及努力

(防災科学技術研究所・内閣府(防災担当)・文部科学省防災科学技術推進室)

他地域の防災科学技術情報基盤の形成との連携

連携先: 欧州連合共同研究センター(EC/JRC)
ラテンアメリカ・カリブ地域防災情報機構(CRID)